

平成22年度埼玉県小・中学校学習状況調査の結果を踏まえた

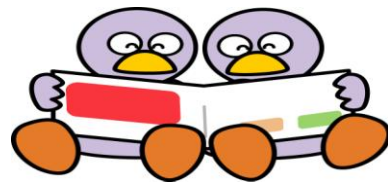
「確かな学力の育成」のための

指導上の改善ポイント

- 本資料は『平成22年度埼玉県小・中学校学習状況調査』において、県及び南部管内ともに（設問ごとの）正答率の低い問題と、県と南部管内との正答率の差が大きい（低い）問題を、教科ごとにピックアップし、その上で「指導上の改善ポイント」をまとめたものです。
- 児童生徒に「確かな学力」を身に付けさせるためには、各学校において、各種学習調査の結果や学校の教育活動を通して自校の学力の課題を明確にするとともに、自校の課題に向き合い、日々の授業の改善を図ることが重要です。
- 各学校においては児童生徒の実態に合わせながら、本資料で取り上げた各教科の設問をはじめ、自校の正答率の低かった問題を洗い出したり、昨年7月に配布した『授業改善の視点と具体的手立て2』と併用したりしながら、本資料を御活用ください。

◆授業改善3つのポイント◆

- ①見通しと振り返りのある授業…“めあて”の明示、板書の工夫
- ②問題解決的な学習を取り入れた授業…自力解決の場の設定等
- ③言語活動の充実が図られた授業…思考の場、交流の場の設定等



埼玉県のマスコット コバトン

平成23年4月

埼玉県教育局南部教育事務所

